

## モニタリング調査結果

種名 : ヤマブキソウ

調査者 : NPO法人境川の斜面緑地を守る会

調査地 : 古淵

調査期間	気づいたこと
2018年4月 ～2018年5月	花がたくさん咲いた。咲く範囲がわずかに広がった。既存の群生から離れた通路の柵の下でも咲いた。種子散布により生育地が拡大しているものと思われる。
2019年4月 ～2019年5月	今年は花が大きかった。咲く範囲が広がっている。冬季に生育地に侵入してくるトウネズミモチやクワ、シダ類などを除去した。
2020年4月 ～2020年5月	今年も例年通り咲いた。生育地に侵入したヤブミョウガやヌスビトハギ、シダ類、コクサギを除去し、生育地に影を落とすアブラチャンを除去し、生育地周辺のササを刈った。
2021年4月 ～2021年5月	今年も例年通り咲いた。崖下のヤマブキソウは花が増えた。生育地に影を落とすアブラチャンを除去したことで明るくなり花が増えたのではないかと考えられる。
2022年4月 ～2022年5月	昨年と同じく変わらず花が咲いている。11/7にヤマブキソウの看板がある崖下のキツタを除去したので、来年の変化が期待される。
2023年4月 ～2023年5月	看板の前のヤマブキソウは咲く花が増えた。昨年11月にキツタを取り除いた効果が表れた。踏み込み防止のネットの効果で踏まれていた所にも花が咲いた。
2024年4月 ～2024年5月	いつもより咲く花が少なかった。咲く時期が遅く、これからもっと咲くのかと待っていたが、咲かずに種をつくり始めた。雨の日や曇りの日が多く、日光不足ではないかと思われる。
2025年4月～ 2025年5月	花の数が少なくなってきた。アブラチャンの葉がヤマブキソウを覆うようになっていた。アブラチャンの枝を切り日が当たるようにした。